

公開実用 昭和63- 166235

D4

⑤ 日本国特許庁(JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭63-166235

⑥ Int. Cl. *

識別記号

庁内整理番号

③ 公開 昭和63年(1988)10月28日

A 61 H 39/04
39/06

7132-4C
7132-4C

審査請求 未請求 (全 頁)

④ 考案の名称 眼とその周辺のつばを刺激する眼帯

⑦ 実 願 昭62-59535

⑧ 出 願 昭62(1987)4月20日

⑨ 考 案 者 富士原 昌一 東京都町田市国師町1672番地

⑩ 出 願 人 富士原 昌一 東京都町田市国師町1672番地

明 細 書

1. 考案の名稱

眼とその周辺のつぼと刺激する眼帯

2. 実用新案登録請求の範囲

眼帯(A)の内側(B)の眼球に当る周辺部分に刺激用の素材(1)を密集させて固着し、穴(3)をあけた眼帯。

3. 考案の詳細な説明

(イ) この考案は、疲れた眼及びその周辺部分の疲れをとる事ができる眼帯に関する。

(ロ) 従来、技術としては、指圧・マッサージ、針灸から始まって各種光学装置・電子装置等が揃っているが、素人には難しかったり、値段が高額だったり、誰でも可能と言う訳にはいかなかった。

(ハ) 考案が解決しようとする問題点

最近電子装置類の家庭・職場への進出は目を見はるばかりの状況で、これに比例して眼の疲れ、各種神経、筋の疲れを訴える人が急増した。

この疲れを衆症で簡単に取り去る方法を知らない若者達は、視力を弱めたり、頭痛やイライラの原因とさせている。その日の疲れは、その日に取り除かねばならない。

(二) 問題を解決する者の手段

この考案の眼帯を図面にもとずいて説明すると、眼帯の内側部分(B)の周辺部に皮ふを傷つけないで眼の周辺部にあるつぼを刺激する素材(1)と桌で示すように沢山密に固着させる。(2)の部分は閉じた眼球に当る場所で、柔らかくかつふんわりと盛りようせる。(3)は切り抜いた穴でつぼの中でも特に重要で、強い刺激を受ける場所である。(4)はこの穴にそう入して柄の部分を外側にだす。円型の厚みの部分だけ刺激が強くなる。疲れが激しい時は(5)を(4)と同じようにそう入し、柄の部分に火をつける。これは柄の部分半分位迄にもぐせが入れてあるお灸で既に市販されてる。お灸の火は直接皮ふに当らないようになってる。

(木) 作用

上述のような刺激物つま眼帯を仕事や勉強の後に着用すると、眼の周囲のつぼを痛括に刺激する為大変気持ちがいい。只ほんやりしてゐると血液の流れが活発となり、何時のまにか頭や眼の疲れが解消する。時々(5)の灸を使うと更に効果がでます。

(へ) 考案の効果

上述の作用により、酷使された眼や頭の神経の疲れがとれ、視力の回復、頭痛の解消等の効果がみられる。

4. 図面の簡単な説明

文1図は本考案の斜視図、文2図は(1)の拡大断面図、文3図は(3)の丸い穴にそう入される(4)及び(5)の斜視図である。

A……眼帯、B……眼帯の内側部分、1……刺激用突起物、2……図じた眼球をおさえるふくうみ、3……4と5をそう入する丸い穴、4……刺激用突起物の補助、5……皮ふを焼かないお灸。

図 面

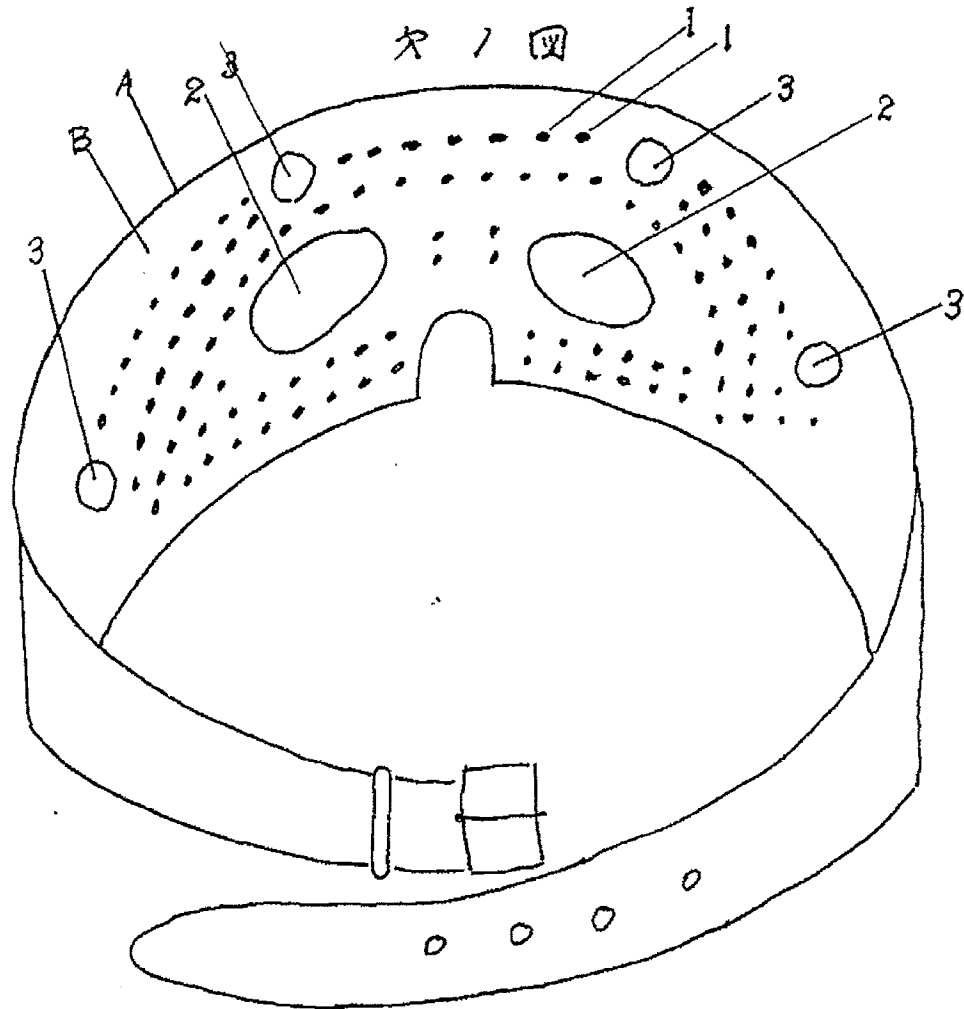


図 1



図 3

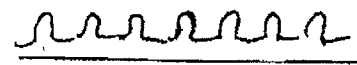


図 2

実用新案登録出願人 富士原 昌一

343

実開 63-166235